

平成 26 年度 海外研修（世界展開力・ロシア）募集要項 （全学群等対象）

1 趣 旨

大学の世界展開力強化事業「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム」参加希望学生を対象として、春季休業期間を活用した約 10 日間の海外研修を実施する。同プログラムは、ロシア語圏諸国における短期海外研修に参加した学生を交流実施大学（協定校）への 1 年間の留学に派遣し、マルチリンガル能力と実務能力の強化をはかるもので、平成 27 年度から学生交換を開始する（平成 27 年度は 8 名、平成 28～31 年度は 15 名派遣する）。今回は、交流実施大学を複数訪問して現地の言語・文化・社会の理解を深めプログラムへの参加動機を強める契機とするため、政府のスタートアップ支援を受け、総数 50 名の学生に参加の窓口を開き、平成 27 年度からの学生派遣を念頭に置いた、優秀な学生の確保につながる機会とする。

2 日 時

2015 年 3 月 10 日（火）～ 3 月 21 日（土）（予定）

3 研修コース

* 研修参加学生決定後にコース振り分けを実施する。

- A** ロシア連邦（モスクワ、サンクトペテルブルグ）、ベラルーシ（ミンスク）[10 名]
協定校等：モスクワ国立大学、モスクワ市立教育大学、モスクワ国立研究医科大学、サンクトペテルブルグ国立大学、ベラルーシ国立大学、ベラルーシ国立医科大学
- B** ロシア連邦（ウラジオストック、ノヴォシビルスク、カザン）[10 名]
協定校等：極東連邦大学、太平洋国立医科大学、ノヴォシビルスク国立医科大学、カザン連邦大学
- C** エストニア（タリン）、ラトビア（リーガ）、リトアニア（ビリニュス）[10 名]
協定校等：タリン大学、ラトビア大学、ビリニュス大学
- D** ウズベキスタン（タシケント）、キルギス（ビシュケク）[10 名]
協定校等：タシケント国立東洋学大学、世界経済外交大学、キルギス民族大学、キルギス国立大学、ビシュケク人文大学
- E** カザフスタン（アルマトィ）、タジキスタン（ドゥシャンベ）[10 名]
協定校等：カザフ国立大学、カザフ経済大学、ナザルバエフ大学、ユーラシア国立大学、カザフ国際関係外国語大学、ロシア・タジク・スラヴ大学

4 研修内容

各コースとも：

- ① 協定校とその所在地を複数訪問・見学して留学の事前研修を行う。
- ② 協定校の日本学科の学生との交流会に参加し、文化、言語、社会などについての発表と討論を行う。
- ③ 各国の日本大使館を訪れ、外交官である駐在大使館員から各国事情、各地の日本人社会について、また、求められる人材について、説明（講義）を受ける。
- ④ モスクワ、サンクトペテルブルグ、ウラジオストック、アルマトィ、タシケントにおいては日本政府系の日本センターを訪れ、留学時のインターンシップ等の説明を受ける。

5 経 費

- ・渡航については往復航空券を支給する。
- ・A参加学生には（特別指定都市が含まれるため）10万円、B～E参加学生には7万円の奨学金が支給される。支給額を超える滞在費については自己負担となる。

6 応募要件

- ・全学の学群・学類生のうち、プログラムに参加する意欲のある学生を、学群・学類を通じて募集する。プログラムへの継続可能性の観点から1・2年生を優先して採用する。
- ・人文社会科学系研究科及びビジネス科学研究科の院生（若干名）を、研究科を通じて募集する。
- ・ロシア語能力は今回必須ではないが、プログラムの人材育成戦略を考慮し、ロシア語履修者を優先して採用する。
- ・参加が決まった学生は、研修以前に行われるプログラムの行事には参加すること（平成27年2月15日に東京・虎ノ門ヒルズにおいてプログラムの発足となる筑波大学主催国際シンポジウム「グローバル社会における新しい大学像を創出する」が開催される。詳細は採用後に通知する）。

7 担当責任者

白山 利信 人文社会系・教授 プログラム実務担当責任者

小野 正樹 人文社会系・准教授 受入責任者

加藤 百合 人文社会系・准教授 派遣責任者

8 連絡先

大学の世界展開力強化事業（ロシア）担当事務室 内線4251（守屋、坂）

国際室中央アジア担当 内線2384（松山）

E-mail: moriya.michiko.gu@un.tsukuba.ac.jp, saka.nobuko.gn@un.tsukuba.ac.jp

